

**持続的な成長に向けて、
ESGを通じて事業機会を拡大**

SDGs・ESGへのさらなるコミットメント

マテリアリティ (関連するSDGs)	ESG アジェンダ	ESG アクション事例	事業機会
気候変動 	● 温室効果ガス排出量の削減 ● リスクと機会の特定	● CO₂削減(スコープ1,2) ● スコープ3のグローバルでの算定開始 ● TCFDシナリオ分析(リスクと機会の特定など)開始	
資源と汚染 	● 廃棄物・エネルギー使用(効率的使用)・水資源使用量・環境汚染物質管理・プロダクトステewardシップ		● 低CO₂排出製品によるビジネスチャンス拡大
ダイバーシティ & インクルージョン 	● 女性管理職比率向上 ● 従業員エンゲージメントの向上	● 取締役会と管理職のダイバーシティの推進 ● 女性比率(2020年) 取締役会の女性比率 12.5% (日本ペイントHD単体) 女性従業員比率(グローバル) 24.0% 幹部職に占める女性比率(グローバル) 23.8%	● 生産再編・自動化を通じた高齢化対策、収益性の向上 ● 顧客ニーズ把握とブランディング強化
労働安全衛生 	● 保安防災(火災事故撲滅) ● 死亡事故・労働災害防止		● イノベーション創出による収益の拡大
コミュニティとともに成長 	● 社会貢献方針策定 ● 社会貢献活動の戦略的展開	● 「NIPPON PAINT Group Global Outreach Program」立ち上げ ● Education/Empowerment/Engagementの強化、データ収集	(例) ・抗ウイルス・抗菌ブランド「PROTECTON」 ・洋上風力発電設備用塗料 ・次世代型船舶防汚塗料「FASTAR」
社会課題を解決するイノベーション創出 	● 異業種コラボの促進 ● 社会課題解決型製品の開発	● 抗ウイルス製品や海洋環境配慮製品の開発 ● 社会課題解決型製品のラインアップ拡充	

ESG 推進担当役員コミットメント

2021年度より始まった新中期経営計画の期間中は、マテリアリティに紐づく「ESGアジェンダ」に基づき、具体的なアクションをさらに前進させていきます。

「気候変動」への対応では、再生可能エネルギーへの転換や省エネルギー・電化設備への置換などを併用しながら、CO₂排出量低減に確実に取り組んでいきます。市場が拡大する高成長国においても、原単位当たりの排出量削減に注力し、各国の掲げているネットゼロ目標の達成を目指します。

「社会課題を解決するイノベーション創出」に向けては、例えば、BtoBビジネスにおいて、低CO₂排出製品は非常に重要なカテゴリーであることから、洋上風力発電設備用塗料や次世代型船底防汚塗料「FASTAR」などを通じて、顧客ニーズに貢献していきます。一方で、2020年から世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響で、抗ウイルス・抗菌機能を備えた塗料のニーズがますます高まっており、今後も引き続き「PROTECTON」

ブランドの新製品を次々と発表する計画です。

また、当社グループが事業を営む上で、地域社会との共生は大切なテーマです。「コミュニティとともに成長」に向けては、2021年度に社会貢献活動のグローバルイニシアチブ「NIPPON PAINT Group Outreach Program」を立ち上げるなど、ビジネスを通じた社会貢献活動をグローバルで加速しています。Education、Empowerment、Engagementの3つの柱からなるこのイニシアチブの推進は、当社ビジネスの持続可能性に大いに寄与するものと確信しています。

当社グループはこうに、SDGs・ESG視点の経営によって、ESGを通じて事業機会を拡大するとともに、社会全体のサステナビリティの向上に貢献していきます。

常務執行役 CAO
黒田 芳明

ESG推進体制

2020年からSDGs・ESGを経営の中核に位置付け、持続可能な企業価値の創造・向上についてグループ横断的に議論し、ESG推進活動を加速するべく、「ESG委員会」を設置しました。

ESG 委員会は、代表執行役共同社長が委員長を務め、SDGs・ESGを踏まえたグループの「あるべき姿」やESGに関する戦略、方針、活動計画の策定、活動の評価・推進をしています。

また、2020年8月に見直したマテリアリティ(重要課題)への取り組みを進捗させるため、ESG委員会の直下に世界各地の主要パートナー会社からメンバーを集めた「ワーキングチーム」を設置しました。ワーキングチームでは、当社グループが事業を展開する多様な地域の状況を共有し、グループ内での先進事例を学び合うとともに、グローバルで達成すべき目標の設定と各地域の状況に即した対策の立案に取り組んでいます。

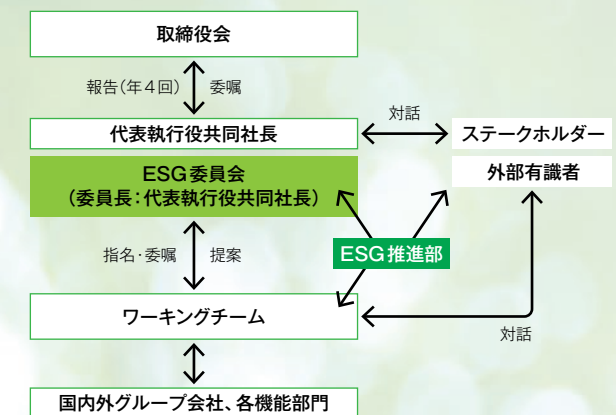
KPI策定に向けた取り組み

当社グループは、30の国・地域で事業を展開しています。現在、グループ各社とともにマテリアリティ、ESGアジェンダを進捗させる具体的なKPIの検討を行っています。例えば、「温室効果ガス排出量の削減」に向けた取り組みについては、国や地域によって再生可能エネルギーや証書活用の状況が異なるため、それぞれの国・地域の状況を踏まえ、誠実に課題と対策の特定に取り組んでいます。

ワーキングチームの活動

ESG委員会のもとに設置している5つのワーキングチームは、それぞれホールディングスと海外パートナー会社の役員、実務者で構成されており、分野別にグローバルで議論、対策の実行を進めています。グローバルプロモーションチーム1は「気候変動」をテーマに、ネットゼロに向けた各地の状況を共有しています。グローバルプロモーションチーム3は「コミュニティとともに成長」をテーマに、社会貢献活動の枠組み「NIPPON PAINT Group Global Outreach Program」のKPIと集計について議論を重ねています。

ESGマネジメント体制図



2020年度	～6月 グローバルで社内議論 ～7月 ステークホルダーとの対話 ～8月 ESG委員会で審議、取締役会での承認 8月 マテリアリティ(重要課題)の見直し
2021年度	3月 新中期経営計画の策定、ESGアジェンダの設定 ～9月 各国・地域の実情を踏まえた課題と対策の特定 ～12月 ESG委員会で審議、取締役会での承認

グローバル
プロモーション
チーム3

グローバル
プロモーション
チーム1